

MIRAIプログラム 2024 令和6年度結果概要



1. プログラム概要

外務省では、令和6年度「対日理解促進交流プログラム」の一環として、「MIRAIプログラム」との名前で、日本の政治・社会・歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目的とし、欧州・中央アジア・コーカサス地域から、将来の活躍が期待される大学生・大学院生及び若手実務者84名を招へいしました。

本プログラムでは、地域又はテーマ毎に計6グループに分けました。

対面招へいでは、第1グループ（西バルカン地域「平和構築」）は令和6年12月4日から12月10日まで、第2グループ（外交・安全保障）は令和6年11月6日から11月12日まで、第3グループ（経済・ビジネス）は令和6年11月6日から11月12日まで、第4グループ（科学・技術）は令和6年12月4日から12月10日まで、第5グループ（環境・グリーン）は令和6年11月6日から11月12日まで、第6グループ（中央アジア・コーカサス地域「法の支配」）は令和7年1月14日から1月20日まで、それぞれ実施しました。

参加者は、行政機関での講義の他、企業訪問、大学訪問、地方訪問、文化体験を通じ、日本を取り巻く国際情勢や日本の社会・経済・科学技術について理解を深めました。日程を終えた参加者からは、今後も日本に関心を持ち続け、またプログラムで育んだ日本との繋がりや学生交流で生まれた友情を大切にしていきたいとの思いも聞かれており、帰国後にそれぞれSNSやその他のメディアを通じて、日本で学んだことや日本の魅力等を積極的に発信しています。この様に、本プログラムは、国際社会における対日イメージの向上や、日本に対する関心を持続的に高める役割を果たしています。

2. 参加国・人数及び訪問地

第1グループ（平和構築）

選出国 西バルカン諸国6ヵ国（国籍6ヵ国）、14名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	アルバニア	2	5	モンテネグロ	1
2	コソボ	2	6	北マケドニア	2
3	セルビア	3		RYCO（引率・北マケドニア）＊	1
4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3			
総計					14

（訪問地：東京都、広島県）

＊西バルカン地域青年協力機構（RYCO）

＊選出国ボスニア・ヘルツェゴビナから、クロアチア国籍1

第2グループ（外交・安全保障）

選出国 欧州16か国（国籍16）、16名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	アイルランド	1	9	フランス	1
2	アンドラ	1	10	ブルガリア	1
3	イタリア	1	11	ベラルーシ	1
4	キプロス	1	12	ポーランド	1
5	スペイン	1	13	ポルトガル	1
6	デンマーク	1	14	モルドバ	1
7	ドイツ	1	15	ルーマニア	1
8	ハンガリー	1	16	英国	1
総計					16

（訪問地：東京都・埼玉県）

第3グループ（経済・ビジネス）

選出国 欧州12カ国（国籍12カ国）、12名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	イタリア	1	7	スロバキア	1
2	ウクライナ	1	8	ドイツ	1
3	エストニア	1	9	フィンランド	1
4	ギリシャ	1	10	フランス	1
5	サンマリノ	1	11	ルーマニア	1
6	スペイン	1	12	英国	1
総計					12

（訪問地：東京都、山梨県）

第4グループ（科学・技術）

選出国 欧州14カ国（国籍14カ国）、14名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アイスランド	1	9	ドイツ	1
2	イタリア	1	10	ノルウェー	1
3	ウクライナ	1	11	フランス	1
4	エストニア	1	12	ポーランド	1
5	オーストリア	1	13	マルタ	1
6	オランダ	1	14	リトアニア	1
7	スペイン	1	15	英国	1

8	スロベニア	1			
総計					15

(訪問地：東京都、埼玉県、茨城県)

第5グループ（環境・グリーン）

選出国 欧州14カ国（国籍14か国）、14名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	イタリア	1	9	フランス	1
2	オーストリア	1	10	ブルガリア	1
3	クロアチア	1	11	ベルギー	1
4	スウェーデン	1	12	モナコ	1
5	スペイン	1	13	ラトビア	1
6	チェコ	1	14	ルクセンブルク	1
7	ドイツ	1	15	英国	1
8	ノルウェー	1			
総計					15

(訪問地：東京都、神奈川県、山梨県)

*選出国ルクセンブルクから、フランス国籍1

第6グループ（法の支配）

選出国 中央アジア・コーカサス地域 8カ国（国籍8カ国）、12名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アゼルバイジャン	1	5	キルギス	2
2	アルメニア	1	6	ジョージア	1
3	ウズベキスタン	2	7	タジキスタン	2
4	カザフスタン	2	8	トルクメニスタン	1
総計					12

(訪問地：東京都、山梨県)

3. 日程

1) プレプログラム（事前学習）

2024年9月6日（金） 動画配信

曜日）から9月13日 対日理解促進交流プログラム「MIRAI」事業概要説明
（金曜日）まで

2024年9月14日（土） 合同オリエンテーション

曜日） 日本理解講義、グループディスカッション

2) 招へいプログラム

第1 グループ（平和構築）西バルカン諸国

- 12月4日（水曜日） 本邦着
来日時オリエンテーション
- 12月5日（木曜日） 【テーマ関連講義】外務省
【テーマ関連講義・意見交換】独立行政法人 国際協力機構(JICA)
- 12月6日（金曜日） 【学校交流・講義】上智大学（四谷キャンパス）
（ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流）
東京都から広島県へ移動
- 12月7日（土曜日） 【日本文化体験】書道体験
【視察】宮島
- 12月8日（日曜日） 【テーマ関連視察】平和記念公園・広島平和記念資料館
【テーマ関連講義・視察】sokoiko!広島ピースツアー
広島県から東京都へ移動
- 12月9日（月曜日） 【視察】浅草寺
【ワークショップ】報告会準備
【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 松本 尚氏
【報告会】外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表
- 12月10日（火曜日） 本邦発

第2 グループ（外交・安全保障）欧州諸国

- 11月6日（水曜日） 本邦着
来日時オリエンテーション
【テーマ関連講義】外務省
- 11月7日（木曜日） 【テーマ関連講義・視察・意見交換】防衛省
【テーマ関連講義・視察・意見交換】独立行政法人 国際協力機構(JICA) 緒方貞子平和開発研究所
- 11月8日（金曜日） 【学校交流・講義】慶應義塾大学
（講義聴講、大学・大学院生との意見交換・交流）
【視察】東京タワー
- 11月9日（土曜日） 【テーマ関連視察】外交史料館展示
【テーマ関連視察】国会議事堂
【視察】浅草寺
- 11月10日（日曜日） 【テーマ関連視察】内閣官房 領土・主権展示館
【視察】東京国立博物館
【文化体験】茶道体験
- 11月11日（月曜日） 【テーマ関連視察】陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」

【ワークショップ】 報告会準備

【表敬訪問】 外務省 外務大臣政務官 深澤 陽一 氏

【報告会】 外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表

11 月 12 日（火曜日） 本邦発

第3グループ（経済・ビジネス）欧州諸国

11 月 6 日（水曜日） 本邦着

来日時オリエンテーション

11 月 7 日（木曜日） 【学校交流】 一橋大学大学院 経済学研究科・経済学部
（ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流）

11 月 8 日（金曜日） 【テーマ関連視察】 東証 Arrows
【テーマ関連講義・視察】 東京開業ワンストップセンター（東京都支援プログラム）及び Tokyo Innovation Base（東京イノベーションベース、TIB）視察

11 月 9 日（土曜日） 【視察】 忍野八海（世界遺産構成資産登録）

【視察】 北口本宮富士浅間神社

【講義・視察】 山梨県立富士山世界遺産センター

11 月 10 日（日曜日） 【視察】 東京国立博物館

【文化体験】 茶道体験

【視察】 浅草

11 月 11 日（月曜日） 【テーマ関連視察・交流】 株式会社 中川政七商店、アナザー・ジャパン視察

【ワークショップ】 報告会準備

【表敬訪問】 外務省 外務大臣政務官 深澤 陽一 氏

【報告会】 外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表

11 月 12 日（火曜日） 本邦発

第4グループ（科学・技術）欧州諸国

12 月 4 日（水曜日） 本邦着

来日時オリエンテーション

12 月 5 日（木曜日） 【学校交流・講義】 芝浦工業大学
（ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流）

12 月 6 日（金曜日） 【テーマ関連視察】 パナソニックセンター東京
【テーマ関連視察】 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター

茨城県へ移動

12 月 7 日（土曜日） 【テーマ関連視察・質疑応答】 CYBERDYNE STUDIO

【テーマ関連視察】 筑波宇宙センター（JAXA）

12 月 8 日（日曜日） 【日本文化体験】 提灯づくり体験

- 【視察】茨城県立歴史館
 【日本文化体験】鎧兜、十二単試着体験（茨城県立歴史館内）
 茨城県から東京都へ移動
- 12月9日（月曜日） 【視察】浅草寺
 【ワークショップ】報告会準備
 【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 松本 尚 氏
 【報告会】外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表
- 12月10日（火曜日） 本邦発

第5グループ（環境・グリーン）欧州諸国

- 11月6日（水曜日） 本邦着
 来日時オリエンテーション
- 11月7日（木曜日） 【視察】深川江戸資料館
 【学校交流・講義】早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科
 （テーマ関連講義聴講、大学・大学院生との意見交換・交流）
- 11月8日（金曜日） 【テーマ関連視察】川崎市環境総合研究所
 【テーマ講義】国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- 11月9日（土曜日） 【視察】忍野八海（世界遺産構成資産登録）
 【視察】北口本宮富士浅間神社
 【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター
- 11月10日（日曜日） 【文化体験】茶道体験
 【視察】東京国立博物館
 【視察】増上寺・東京タワー
- 11月11日（月曜日） 【テーマ関連講義】経済産業省 産業技術政策局 環境政策課
 【ワークショップ】報告会準備
 【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 深澤 陽一 氏
 【報告会】外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表
- 11月12日（火曜日） 本邦発

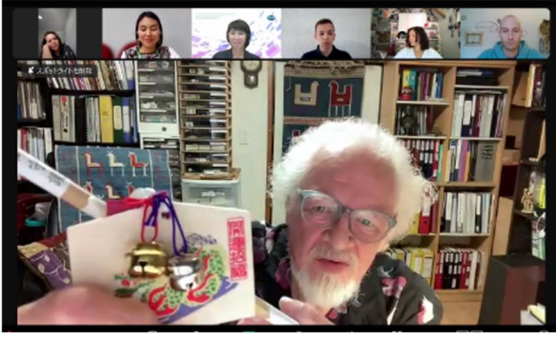
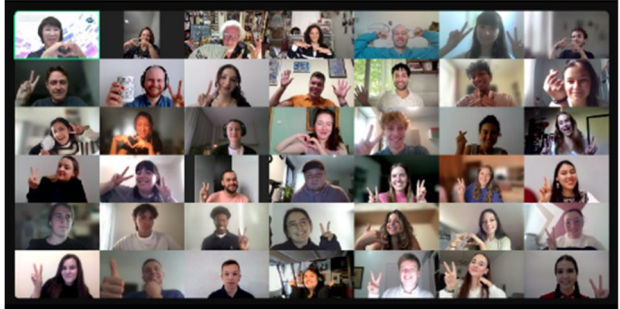
第6グループ（法の支配）中央アジア・コーカサス地域

- 1月14日（火曜日） 本邦着
- 1月15日（水曜日） 【オリエンテーション】
 【テーマ関連講義】外務省
- 1月16日（木曜日） 【テーマ関連施設・機関視察・講義】国際法務総合センター
- 1月17日（金曜日） 【テーマ関連講義・視察】最高裁判所
 【学校交流・講義】慶應義塾大学 大学院 法務研究科
 （テーマ関連講義聴講、大学・大学院生との意見交換・交流）

- 1月18日(土曜日) 【テーマ理解講義・テーマ関連講義】 浅草商店連合会
 【視察】 浅草寺、浅草神社、伝法院庭園、花やしき
 【文化体験】 茶道体験
- 1月19日(日曜日) 【視察】 忍野八海（世界遺産構成資産）
 【視察】 北口本宮富士浅間神社
 【講義・視察】 山梨県立富士山世界遺産センター
- 1月20日(月曜日) 【テーマ関連講義・視察】 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
 【ワークショップ】 報告会準備
 【表敬訪問】 外務省 外務大臣政務官 松本 尚 氏
 【報告会】 外務省 訪日成果、帰国後の活動計画発表

4. MIRAI プログラム記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
2024年9月14日【合同オリエンテーション】 日本理解講義「日本文化トリビア集」	2024年9月14日【合同オリエンテーション】 記念撮影

第1グループ（平和構築）西バルカン諸国

	
2024年12月4日【オリエンテーション】 グループ別ミーティング	2024年12月5日【テーマ関連講義】 外務省によるブリーフィング

	
2024 年 12 月 5 日【テーマ関連講義・意見交換】 独立行政法人 国際協力機構（JICA）	2024 年 12 月 5 日【テーマ関連講義・意見交換】 独立行政法人 国際協力機構（JICA）
	
2024 年 12 月 6 日【学校交流】 上智大学（四谷キャンパス）	2024 年 12 月 6 日【学校交流】 上智大学（四谷キャンパス）
	
2024 年 12 月 7 日【文化体験】書道体験	2024 年 12 月 7 日【視察】宮島
	
2024 年 12 月 8 日【テーマ関連視察】 広島平和記念資料館	2024 年 12 月 8 日【テーマ関連講義・視察】 sokoiko! 広島ピースツアー



2024 年 12 月 9 日 【視察】浅草寺



2024 年 12 月 9 日 【表敬訪問】
外務大臣政務官 松本 尚 氏（写真：外務省提供）



2024 年 12 月 9 日 【報告会】訪日成果・帰国後の活動
計画発表



2024 年 12 月 9 日 【報告会】訪日成果・帰国後の活動
計画発表

第2グループ（外交・安全保障）欧州諸国



2024年11月6日【テーマ関連講義】
外務省



2024年11月7日【テーマ関連講義・視察・意見交換】防衛省



2024年11月7日【テーマ関連講義・視察・意見交換】JICA 緒方貞子平和開発研究所



2024年11月8日【学校交流】慶應義塾大学



2024年11月9日【テーマ関連視察】
外交史料館展示室



2024年11月9日【テーマ関連視察】
国会議事堂



2024年11月9日【視察】
浅草寺



2024年11月10日【テーマ関連視察】
領土・主権展示館



2024 年 11 月 10 日【文化体験】
茶道体験（東京国立博物館 九条館）



2024 年 11 月 11 日【テーマ関連視察】
陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」



2024 年 11 月 11 日【報告会】



2024 年 11 月 11 日【表敬訪問】
外務大臣政務官 深澤 陽一氏（写真：外務省提供）

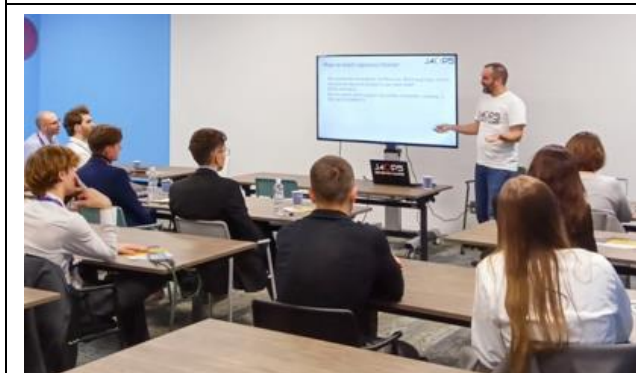
第3グループ（経済・ビジネス）欧州諸国



2024年11月7日【学校交流】
一橋大学（国立キャンパス）



2024年11月8日【テーマ関連視察】
東証 Arrows



2024年11月8日【テーマ関連視察・講義】
インベスト トーキョー・Tokyo Innovation Base



2024年11月9日【視察】
忍野八海（世界遺産構成資産登録）



2024年11月9日【視察・講義】
山梨県立富士山世界遺産センター



2024年11月10日【文化体験】
茶道体験（東京国立博物館 九条館）



2024 年 11 月 10 日【視察】
浅草寺



2024 年 11 月 11 日【テーマ関連視察・交流】
株式会社 中川政七商店・アナザー・ジャパン



2024 年 11 月 11 日【報告会】



2024 年 11 月 11 日【表敬訪問】
外務大臣政務官 深澤 陽一 氏（写真：外務省提供）

第4グループ（科学・技術）欧州諸国

	
2024 年 12 月 4 日 【オリエンテーション】	2024 年 12 月 5 日 【学校交流】 芝浦工業大学
	
2024 年 12 月 5 日 【学校交流】 芝浦工業大学	2024 年 12 月 6 日 【テーマ関連視察】 パナソニックセンター東京
	
2024 年 12 月 6 日 【テーマ関連視察】 理化学研究所 脳神経科学研究センター	2024 年 12 月 7 日 【テーマ関連視察】 CYBERDYNE STUDIO
	
2024 年 12 月 7 日 【テーマ関連視察】 JAXA 筑波宇宙センター	2024 年 12 月 8 日 【体験】 提灯づくり体験



2024 年 12 月 8 日【視察・文化体験】
茨城県立歴史館、鎧兜、十二単試着体験



2024 年 12 月 9 日【視察】浅草寺



2024 年 12 月 9 日【報告会】



2024 年 12 月 9 日【表敬訪問】
外務大臣政務官 松本 尚 氏（写真：外務省提供）

第5グループ（環境・グリーン）欧州諸国

	
2024年11月7日【視察】 深川江戸資料館	2024年11月7日【学校交流】 早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科
	
2024年11月7日【学校交流】早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科 キャンパスツアーの様子	2024年11月8日【講義】 NEDO
	
2024年11月9日【視察】 忍野八海	2024年11月9日【講義・視察】 山梨県立富士山世界遺産センター
	
2024年11月10日【文化体験】 茶道体験（東京国立博物館 九条館）	2024年11月11日【テーマ関連講義】 経済産業省

	
2024 年 11 月 11 日【報告会】	2024 年 11 月 11 日【表敬訪問】 外務大臣政務官 深澤 陽一 氏（写真：外務省提供）

第 6 グループ（法の支配）中央アジア・コーカサス地域

	
2025 年 1 月 15 日【テーマ関連講義】 外務省基調講演	2025 年 1 月 16 日【テーマ関連講義・視察】 法務省 国際法務総合センター
	
2025 年 1 月 16 日【テーマ関連講義・視察】 法務省 国際法務総合センター	2025 年 1 月 16 日【視察】 東日本成人矯正医療センター
	
2025 年 1 月 17 日【テーマ関連講義・視察】 最高裁判所	2025 年 1 月 17 日【テーマ関連講義・学校交流】 慶應義塾大学大学院 法務研究科

	
2025 年 1 月 17 日【テーマ関連講義・学校交流】 慶應義塾大学 大学院 法務研究科	2025 年 1 月 18 日【視察】 忍野八海（世界遺産構成資産登録）
	
2025 年 1 月 18 日【視察】 山梨県立富士山世界遺産センター	2025 年 1 月 19 日【視察】 辻 清人 内閣府副大臣からの挨拶と意見交換
	
2025 年 1 月 19 日【視察】浅草寺	2025 年 1 月 20 日【テーマ関連講義・視察】 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
	
2025 年 1 月 20 日【表敬訪問】 外務大臣政務官 松本 尚 氏（外務省提供）	2025 年 1 月 20 日【報告会】

5. 参加者の感想（抜粋）

第1グループ（平和構築）西バルカン諸国

オンラインプログラム

◆ アルバニア 大学生

合同オリエンテーションはとてもよく企画されていました。友好的な雰囲気良かったです。スチュワート氏の講義はすばらしくて、日本に対する関心がさらに高まりました。実際にそのすばらしい文化を体験する日まで、文字通り指折り数えて楽しみにしています。講義では、相撲の土俵にはもともと四隅に柱がありましたが、現在は存在しないことなどを知ることができました。

招へいプログラム

◆ 北マケドニア 大学院生

上智大学での交流が一番印象深いです。来日後、JICAでのディスカッションを除くと、初めてのディスカッションプログラムでした。大学生との交流、経験の共有や、友情を育む貴重な機会となり、とても良かったと思います。

◆ アルバニア 大学生

最も印象に残っているのは、（ピースツアーの）ガイドさんです。人とのつながり、互いに親切であり、許し合うことの必要性に焦点を当てていて、人間性について私の見方を変えてくれました。また、核の脅威に対する恐れを改めて感じさせるという点で、人生が一変するような経験でした。

◆ コソボ 大学生

私にとって一番印象的だったのは、日本の学生と経験を共有し合いながら、平和教育について共に学んだ交流です。自国の教育の場には、そのような教科はありません。また、西バルカン諸国に対する日本の影響やJICA事業について知識を深めることもできました。

第2グループ（外交・安全保障）欧州諸国

オンラインプログラム

◆ ルーマニア 大学院生

今日の合同オリエンテーションで最も印象深いのは、アットキン氏による講義です。招き猫の意義や形に触れてお話されていたところが特に楽しかったです。日本の映像撮影や舞台芸能である文楽や歌舞伎に話題が及ぶと、講師は主だった人形や人形遣い、映画やディレクターについて詳しく説明して下さいました。また切手や浮世絵についても、その芸術的なデザインや様々な逸話についてご紹介いただき、とても興味深く拝聴しました。

招へいプログラム

◆ モルドバ 大学生

日本の社会、文化、伝統、歴史、そして国際社会における役割に感銘を受けました。日本の外交政策や活動、日本が感じている脅威やその解決策など、多くの事について知見を深めることができました。慶應義塾大学を訪問し、日本の学生と各国の民主主義、国際協力、安全保障問題、FOIPについて話し、国際的な出来事についても様々な意見を交換することができました。とても楽しかったです。国会や防衛省のような重要機関で学ぶ機会があったことも思い出に残っています。

◆ ポーランド 大学生

プログラムでは毎日がとても充実していました。省庁に行ったり、大学の授業に参加したり、現地の

学生に会ったりと、多くの場所を訪れ、さらに多くのことを学ぶすばらしい経験でした。学生達と話したおかげで、日本の学校制度についても学ぶことができました。歴史的価値の高い国際条約などが展示されていた外交史料館の見学もとても良かったです。

◆ フランス 大学生

プログラム中、最も感銘を受けたのは企画された内容の質と多様性、そして関わった日本の人々の効率性と献身性です。防衛省と外務省で行われた講義はどちらもすばらしく、日本の防衛戦略に携わる人々と交流する機会があったおかげで、より正確に日本の状況について理解することができました。茶道体験をととても楽しみにしていましたが、期待以上にすばらしい経験となりました。すべての動作から醸し出される精神性に本当に感動しました。日本の伝統文化を直接肌で感じ、政府機関に足を運ぶことができたことは間違いなく貴重な体験でした。また、日本食を食べる機会が多かったことも、日本文化をより深く知るきっかけとなりました。

第3グループ（経済・ビジネス）欧州諸国

オンラインプログラム

◆ 英国 大学生

今日は、講師であるアットキン氏の日本文化に対する見識の深さに感銘を受けました。特に日本円通貨の歴史について、アルミ硬貨と金属硬貨の変遷や、最近、偽札防止対策として3Dホログラムを新紙幣に導入したという話に興味を覚えました。男性の顎ひげや繊細な線などの込み入ったデザインが、偽札の製造を困難にするということでした。さらに、相撲が日本の国技であることや土俵について理解を深めると、アットキン氏が日本の相撲と個人的につながりがあるという話題にも好奇心をそそられました。食事中に音を立ててすすること習慣など、日本の風習について学び、ヨーロッパの習慣と比較することも同様に魅力的でした。

招へいプログラム

◆ フランス 大学院生

私にとって最も印象的だったのは、一橋大学と中学校の両方を訪問したことです。大学では、日本の学生と交流し、彼らの学び方やあり方について知ることができました。彼らの生活、日本での経験、そして抱負について多くの質問をすることができ、深い洞察を得ることができました。

中学校については、とてもユニークな経験で、このような場所を訪れることができるとは想像もしていませんでした。教育システムについて詳しく知ることができ、生の英語の授業に参加できたことは本当に有意義でした。この体験は、唯一無二のものだったので、私が生きている間、ずっと頭の中に残り続けると思います。

◆ スペイン 大学院生

中学校への訪問がとても気に入りました。生徒同士や先生との関わり方、講義の進め方、授業で使う教材など、日本人がどのように育てられているかを知ることができたのは、とてもすばらしい経験だったと思います。また、現代と伝統の大きな対比にも感銘を受けました。これは日本文化の独特な特徴であり、日本に適応し、正しく振る舞うためには、微妙な詳細を理解する必要があると思います。そして最後に、一橋大学での講義にはとても驚きました。講義の進め方は、私にとってとても新鮮でした。授業中に行われたゲームの経験から、新たな知識を得ることができました。日本社会がビジネス分野でどのように機能しているかを理解する上で、意義のある講義でした。

◆ ドイツ 大学生

最も印象的だったのは、旅行全体の計画だったと思います。さまざまな日本料理やアジア料理を楽しむことができるレストランの選択から、訪問先まで、すべてが完璧でした。また、東京の多くの場所を見ることができるように、レストランは異なる地区にありました。国立博物館や茶道のような文化的なものから、学生が企画したショップや東京証券取引所、東京イノベーションベースといったビジネス的なものまで、たくさん見ることができましたし、大学訪問では、日本の学生と交流することもできました。全体的に、綿密な計画にとっても感心しました。しかし、もし印象に残ったアクティビティを一つ選ぶとしたら、富士山への旅行と大学交流でしょう。富士山を見ることは私の夢でしたし、天候にも恵まれました。また、大学では、学生との交流や学生生活について聞くことができ、修士課程では日本での学期留学も予定しているので、とても役に立ちました。

第4グループ（科学・技術）欧州諸国

オンラインプログラム

◆ イタリア 大学生

今日の合同オリエンテーションで印象深かったのは間違いなく、外務省の柿原氏による歓迎のご挨拶とアトキン氏による講義でした。ご挨拶を聞きながら、今回私たちが本当に貴重な機会をいただいたことを実感し、感慨深いものを感じました。このような機会を何年も待っていた私にとって、参加者である私たちがそれぞれの分野で担う役割に対する期待など、柿原氏の一言一言にとっても感動しました。改めて、出来ることに最善を尽くそうと思いました。講義においては、知識に富んだアトキン氏のような方から聞くことは本当にすばらしく、日本や日本文化に対するアトキン氏の熱意を感じました。さらに私にもその熱が伝染し、より興味が沸き、日本を訪れて見聞を広げることがさらに楽しみになりました。

招へいプログラム

◆ オーストリア 大学生

日本の大学生がどのように日課をこなし、どのように学問の環境を切り開いているのかを間近に見られたのは本当に楽しかったです。彼らが使っている施設や、教室や研究室がどのように配置されているのか、どのように研究を進めているのかを視察するのはとても興味深かったです。彼らと話し、彼らの仕事や目標、考え方について有意義な会話を交わすことは、信じられないほど充実した経験でした。彼らの学問的実践だけでなく、文化や考え方についても多くを学びました。全体として、貴重な見識とインスピレーションを与えてくれたすばらしい経験でした。

◆ ポーランド 大学院生

私は医学生で神経学に興味があるので、理化学研究所脳神経科学研究センターの視察が一番楽しかったです。訪問後、科学者として本当に変化を起こせると感じました。また、理化学研究所脳神経科学研究センターが若手研究者に提供している（研究）機会についても知ることができました。

◆ スペイン 大学生

私の専門と関係が深いので、パナソニックの視察はとても気に入りました。パナソニックでは自動化、スマート省エネ、スマート素材を通して私たちの未来をデザインしています！パナソニックがこれほど野心的な会社だとは知りませんでした！

提灯作りは、私の心の中でずっと特別な思い出になるでしょう。日本の文化と遺産の一端に触れることができたことは本当に素晴らしい経験でした。

第5グループ（環境・グリーン）欧州諸国

オンラインプログラム

◆ ドイツ 大学院生

合同オリエンテーションは魅力的な文化的要素でいっぱいでしたが、私が最も感銘を受けたのは、スチュアート・ヴァーナム-アットキン氏が撮影された国立劇場の写真でした。これらの写真から、日本の舞台芸術と深くつながる豊かな遺産と伝統を垣間見ることができました。写真に関する思い出や出来事について熱く語るアットキン氏の話に引き込まれました。着物や複雑な模様を描いたポスターも魅力的であり、鮮やかな色で繊細に描かれた芸術性の高い織物が、特にそのデザインと伝統的な歌舞伎役者をつながっているということに関心を持ちました。物語を語る上で、衣装が重要な役割を果たしているという日本の演劇の世界を、アットキン氏の写真を通して見ることができました。説明内容は思慮深く、視覚的な美しさと歴史的重要性を結びつけるものでした。最後に、箸に関するプレゼンテーションは、その実用性や礼儀において、その重要性が際立っていました。箸は単なる食器ではなく、日常行動における心遣いや作法を反映しています。正しい使い方とルールを学ぶことで、シンプルでありながら日本の食文化に欠かせない存在に新たな尊敬の念が生まれました。

招へいプログラム

◆ ドイツ 大学院生

私が最も印象に残った体験は、早稲田大学への訪問と富士山への訪問の二つです。早稲田大学では、日本における持続可能性についての教授の質の高い講義と、それをヨーロッパ諸国と比較するディスカッションを心から楽しみました。この体験は、テーマへの理解を深めただけでなく、他国における持続可能性の取り組みについてさらに探求したいという興味をかき立てました。持続可能性に情熱を持ち、持続可能な革新を通じて変化を促進することにコミットしている者として、特に刺激的でした。富士山への訪問は、非常に楽しく、その山についてもっと学び、日本にとっての文化的及び地理生態学的重要性を理解することができました。美しい写真を伴ったしっかりとした講義と、VRを使って富士山を体験できる参加型の展示が印象的でした。

◆ オーストリア 大学院生

以前、日本に行ったことがあるので、社会や文化は基本的な理解は持っていましたが、それらに対し、新しく、より洗練された理解を得ることができました。指導講師たちはとても親切で、質問をした際には迅速に答えてくれ、一般的にとっても知識が豊富で、もし何か知らないことがあっても、それを正直に伝えてくれました。彼らは優しく、私たちの目に日本への興味を灯してくれました。

私にとって最も印象的な部分は茶道の体験で、素晴らしい雰囲気の中で行われたことが非常に印象的でした。プログラムの、最も楽しんだのは早稲田大学への訪問で、特に環境問題や関連する社会の問題について、学生たちがどのように考え、どのように取り組んでいるのかを学べたことが興味深かったです。

◆ ノルウェー 大学院生

NEDO を訪問して、水素や再生可能エネルギーに関する取り組みについて学ぶのはとても興味深かつ

たです。また、国立博物館を訪問したことも非常に印象深かったです。コレクションの規模に圧倒されました。特に、神道と仏教の違いが超越され、共に実践されている様子が面白いと感じました。日本の美しい建築、公園、自然にはとても感動しました。

第6 グループ（法の支配）中央アジア・コーカサス地域

オンラインプログラム

◆ ウズベキスタン 大学院生

プログラムの中で最も印象的だったのは、アトキン氏の講義でした。私は日本の文化や歴史に多少の知識があるのですが、それでもアトキン氏の言葉はとても印象に残りました。私が最も関心を持ったのは、干支の動物が人格を形成する上で重要視されているということでした。このユニークな文化的視点が、とても印象的でした。さらに、アトキン氏の相撲に対する知識には驚かされました。日本の伝統に関する話を聴き、もっと深く文化に浸り、日本で直接的な体験がしたいという私の願いはさらに強くなりました。プログラムでのもう一つのハイライトは、グループメンバーとの交流でした。彼らが、誰に対してもこんなに温かく親切だとは想像していませんでした。彼らの優しさが深く印象づけられた今、彼らと日本で会うことが本当に楽しみになりました。また、私と同じ国から参加する仲間を見つけられたことも、嬉しいサプライズとなりました。彼らと一緒に日本に旅し、共に日本文化について学ぶことができることに、本当にワクワクしています。

招へいプログラム

◆ タジキスタン 社会人

交流プログラム中、最も印象的な視察先は法務省管轄の東日本成人矯正センターでした。医療支援を必要とする受刑者の健康ニーズをサポートするために利用できる高度な医療機器に驚かされました。さらにすごかったのは、同センターにおける人権保護のレベルの高さでした。受刑者の健康と福祉に対する権利が、このような高い専門性と配慮をもって守られていることに驚かされました。

◆ アゼルバイジャン 大学院生

MIRAI プログラムで最も印象深かったのは、慶應義塾大学への訪問でした。日本の法に関する教育について貴重な知識を得ることができ、また、法の支配についての理解を深める洞察に富んだディスカッションに参加することもできました。浅草にも行くことができ、そこでは抹茶の点て方を習ったり、重要な文化的名所を探検したりと、日本の伝統文化を肌で感じることができ、忘れられない思い出となりました。すべての体験が勉強になり、文化的にも豊かな日々を送ることができました。

◆ ウズベキスタン 社会人

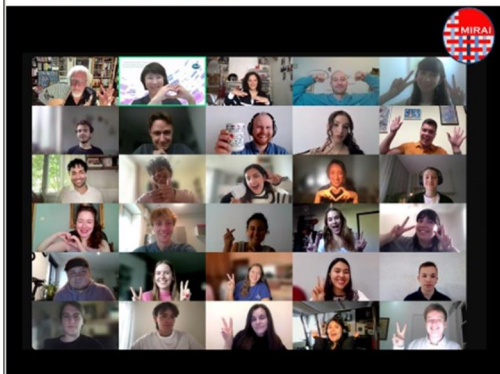
プログラム中の講義がもちろん重要でしたが、同時に日本を探索し、その豊かな文化や伝統的な部分に触れることができたのもこのプログラムのすばらしいところでした。その中でもあの象徴的な富士山を訪れ、活気あふれる浅草の街を体験することができたのは一生の思い出です。法務省国際協力局（ICD）の講義では、アジア諸国を含むさまざまな国への法的技術協力や、民法、刑法、行政法などの幅広い分野における法的技術協力について知ることができました。文化的な体験から洞察に満ちた講義に至るまで、プログラムはすべての面においてすばらしいものでした。

6. 参加者の SNS での発信内容（抜粋）

第1グループ（平和構築）西バルカン諸国

プレプログラム（オンライン事前学習）

Last week, I had my first orientation meeting, marking the exciting beginning of my journey with the "Western Balkans Meet Japan" program - more beautifully named MIRAI! 🌟
I had the pleasure of meeting the amazing individuals I'll be sharing this incredible MIRAI experience with when we all visit Japan together in a few months. It's inspiring to see such a diverse and passionate group, and I'm eager to learn, collaborate, and grow together as we dive deeper into Japanese culture and perspectives.
This is just the start, and I can't wait to see where this journey takes us!
#MIRAI2024 #sharemyMIRAI



2024 年 9 月 14 日 (LinkedIn)

北マケドニア 大学院生

初回となるオリエンテーションミーティングがあり、「西バルカン諸国と日本が会う」プログラム（MIRAI という素敵な名前が付けられています）における私の旅がいよいよ始まりました。数か月後の日本への旅と、MIRAI ですばらしい経験をともにする、素敵な人たちとも顔合わせができて嬉しかったです。このように多様で情熱的なグループに刺激を受け、私も彼らとともに、日本の文化や視点を深く掘り下げながら、学び、協力し、成長したいと強く思うようになりました。まだ始まったばかりのこの旅が、私たちをどこへと導くのか、今からとても楽しみです。

招へいプログラム

I'm honored to represent Serbia in the prestigious MIRAI program organized by the Ministry of Foreign Affairs of Japan alongside an inspiring group of participants from the Western Balkans. Our program focuses on the critical theme of reconciliation, fostering dialogue and understanding across cultures and states. One of the most impactful experiences so far has been our walk through Hiroshima with Mr. Shin, whose family survived the atomic bombing. His openness and powerful story leave a lasting impression and further reinforce the importance of peace and mutual respect. We are also participating in thought-provoking lectures and engaging with students at a Japanese university, exchanging ideas and learning from each other. I'm excited to continue this journey and deepen my knowledge. A heartfelt thanks to the Ministry of Foreign Affairs of Japan and all the organizers for making this unforgettable experience possible. #sharemymirai #mirai2024 	 Sadako Sasaki, who died of an atomic bomb disease radiation poisoning is immortalized at the top of the statue, where she holds a wire crane above her head. Shortly before she passed, she had a vision to create a world without nuclear weapons. Japanese tradition says that if one creates a thousand cranes, they are granted one wish. Sadako's wish was to have a world without nuclear weapons.
2024 年 12 月 8 日 (Instagram) セルビア 大学生 セルビアを代表して、西バルカン諸国から参加したすばらしい参加者と共に日本の外務省が主催する著名な MIRAI プログラムに参加することができ、とても光栄に思います。このプログラムは、対話を促し文化や国家を超えて理解を深めるという非常に重要なテーマに着目するものでした。 これまでで印象深い経験としては、被爆生存者であるガイドさんと広島を歩いたことです。彼のオープンで非常に力強いストーリーは、心に強く響くと同時に、平和と互いを尊重し合う重要性を強く訴えかけてきました。 また、私たちは日本の大学での示唆に富んだ講義や学生との交流し、意見交換をし、互いに学び合いました。この旅を続け、知識を深めることに興奮しています。 生涯忘れることはないだろう経験を得る機会を提供して下さった、全ての関係団体に心から感謝します。	2024 年 12 月 8 日 (Instagram) ボスニア・ヘルツェゴビナ 大学生 原爆症による放射能汚染で亡くなった佐々木禎子さんは、頭上に鶴を掲げ、永遠の存在となつてこの像の上に立っています。彼女が息を引き取る前に夢見たのは、世界平和です。 日本の習慣として、千羽鶴は願いを叶えてくれるというのがあるそうです。禎子さんの願いは、核兵器のない世界でした。

 Arhitektura U centralnom delu, zgrade se kreću od 15-50 spratova, međutim u daljim krajevima gde ljudi najčešće žive, zgrade su do 5 spratova. Arhitektura i plan zgrada je fantastično raspoređen između širokih ulica, koje su takođe popunjene pešačkim zonama i parkovima. Ono što me je oduševilo jeste koliko je dizajn svake zgrade jedinstven, a zajedno se vrlo lepo uklapaju. Original (Bosnian) In the central part, the buildings range from 15-50 floors, but in further areas where people usually live, the buildings range up to 5 floors. The architecture and building plans are fantastically laid between wide streets, which are also filled with pedestrian zones and parks. What amazed me was how unique the design of each building is and together they blend beautifully. Translation	Inspiring study visit week in Tokyo and Hiroshima with the #MIRAI exchange program, accompanying the 13 students and peace building activists from the Western Balkans. There are many things to be learned and applied from the Japanese culture, especially the detailed planning and management, high focus on durability and sustainability, cleanness and respecting the rules, dedication to peace building, great respect and friendship expressed towards the other cultures. Looking forward to seeing the fruits of these learning experiences, being applied back home by all the participants through the action plans and everyday work and activism. Big thanks to the Ministry of Foreign Affairs of Japan for creating these valuable opportunities and supporting the Western Balkans reconciliation and integration to the European Union. #SharemyMIRAI #MIRAIAlumni #RYCO 
2024 年 12 月 6 日 (Instagram 等) セルビア 大学生 都心部は 15 から 50 階までもある高層ビルが立ち並んでいます、郊外の住宅街に来るとビルの高さは 5 階くらいまででした。建物の設計は、広々とした通りに見事に配置されており、歩道や公園も整備されています。特に驚いたのは、建物のデザインがそれぞれに独特でありながら、美しく調和している点です。	2024 年 12 月 11 日 (Instagram) 北マケドニア 社会人 (RYCO 引率者) MIRAI プログラムで、西バルカン諸国の学生 13 名とともに東京と広島で刺激的な研修旅行をしました。日本文化から学んで応用できることはたくさんあります。特に、綿密な計画と管理、耐久性と持続可能性への重点、清潔さとルールの尊重、平和構築への献身、他の文化に対する深い敬意と友情などです。これらの学習経験の成果が、アクション・プランや日々の仕事や活動を通じて、参加者全員によって母国で応用されるのを楽しみにしています。

Participating in the MIRAI program – Western Balkans Meets Japan, organized by JICE's International Exchange Programs and Regional Youth Cooperation Office – RYCO. Throughout this immersive experience, we focused on key themes related to peacebuilding and strengthening collaboration between Japan and the countries of the Western Balkans. Additionally, we had the opportunity to deepen our understanding of Japanese culture, mutual understanding and intellectual exchange with the essentially impactful visit to Hiroshima and Hiroshima Peace Memorial Center.

Arigato! ありがとう
#mirai #sharemymirai



DECEMBER 3, 2024 BY RYCOBORG

MIRAI 2024/2025 Program welcomes 13 young participants from WB to visit Japan

Thirteen selected young people from the Western Balkans will spend the next 7 days in Japan, as part of the MIRAI Program 2024/2025 – implemented by the Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) and the Regional Youth Cooperation Office (RYCO).

From 3rd to 9th December, participants will have the opportunity to visit Tokyo and Hiroshima and exchange experiences through different activities and interactive lectures on global issues with experts and students. Participants will have the chance to visit Sofia University, Japan International Cooperation Agency (JICA), Sensoji Temple, Miyajima and other insightful landmarks during their stay.

Selected young people and Head of LBD North Macedonia, Vladimir Gjorgjević, who will be guiding them in the name of RYCO, are excited to engage in this cultural and intellectual exchange in Japan like no other.

Since its start in 2013, the MIRAI Program has been fostering understanding and collaboration between Japan and the Western Balkans, and now for the 12th time, the program continues to serve as a bridge between diverse cultures and perspectives. The MIRAI started the program to support socio-economic reforms and facilitate reconciliation and cooperation in Albania, Bosnia and Herzegovina, Kosovo*, North Macedonia, Montenegro and Serbia. MIRAI stands for Mutual understanding, Intellectual Relations and Academic exchange Initiative.

*This designation is without prejudice to positions on status and is in line with UNSCR 1244 and the ICJ Opinion on the Kosovo Declaration of Independence.

2024 年 12 月 11 日 (Facebook)

ボスニア・ヘルツェゴビナ 大学生

このプログラムでの体験を通じて、私たちは平和構築、及び、日本と西バルカン諸国間の協力強化に関連する主要なテーマに焦点を当てました。さらに、広島と広島平和記念資料館への非常に意義深い訪問を通じて、日本文化、相互理解、知的交流についての理解を深める機会を得ました。

2024 年 12 月 3 日

(RYCO: Regional Youth Cooperation Office の HP)

「西バルカン諸国の若者 13 人が MIRAI2024/2025 プログラムで日本へ」

Visit to Japan – bridge to new perspectives and 13 young people from WB

RYCOBORG. During its 12th year of existence, the RYCO has been a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program. The program is a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program. The program is a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program.

“Standing as witnesses, witnessing the dislocated experiences and profound suffering of its people, was both moving and humbling. I clearly realize how Japanese society has preserved this history, reminding us that a history forgotten is bound to be repeated. It stands as a powerful testament that peace is the only way forward,” said Ago.

MIRAI members from North Macedonia shared some impressions: “To me, visiting members was the most important part of the journey – it was a powerful reminder of the reality of diversity and the importance of peace,” shared Aiko and added that the entire experience taught her the value of intercultural dialogue and inspired her to apply these lessons to promote cooperation and solidarity in her community. “This journey was more than just a cultural exchange; it was a bridge to new perspectives and lifelong connections,” Aiko concluded.

During the 7-day visit, participants will have the opportunity to visit Tokyo and Hiroshima and exchange experiences through different activities and interactive lectures on global issues with experts and students. Participants will have the chance to visit Sofia University, Japan International Cooperation Agency (JICA), Sensoji Temple, Miyajima and other insightful landmarks during their stay.

Selected young people and Head of LBD North Macedonia, Vladimir Gjorgjević, who will be guiding them in the name of RYCO, are excited to engage in this cultural and intellectual exchange in Japan like no other.

Since its start in 2013, the MIRAI Program has been fostering understanding and collaboration between Japan and the Western Balkans, and now for the 12th time, the program continues to serve as a bridge between diverse cultures and perspectives. The MIRAI started the program to support socio-economic reforms and facilitate reconciliation and cooperation in Albania, Bosnia and Herzegovina, Kosovo*, North Macedonia, Montenegro and Serbia. MIRAI stands for Mutual understanding, Intellectual Relations and Academic exchange Initiative.

*This designation is without prejudice to positions on status and is in line with UNSCR 1244 and the ICJ Opinion on the Kosovo Declaration of Independence.

2024年度 対日理解促進交流プログラム「MIRAI」～平和構築～の交流イベントを開催しました

RYCOBORG. During its 12th year of existence, the RYCO has been a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program. The program is a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program. The program is a bridge to new perspectives and 13 young people from the Western Balkans (WB) are visiting Japan as part of the MIRAI program.

“Standing as witnesses, witnessing the dislocated experiences and profound suffering of its people, was both moving and humbling. I clearly realize how Japanese society has preserved this history, reminding us that a history forgotten is bound to be repeated. It stands as a powerful testament that peace is the only way forward,” said Ago.

MIRAI members from North Macedonia shared some impressions: “To me, visiting members was the most important part of the journey – it was a powerful reminder of the reality of diversity and the importance of peace,” shared Aiko and added that the entire experience taught her the value of intercultural dialogue and inspired her to apply these lessons to promote cooperation and solidarity in her community. “This journey was more than just a cultural exchange; it was a bridge to new perspectives and lifelong connections,” Aiko concluded.

During the 7-day visit, participants will have the opportunity to visit Tokyo and Hiroshima and exchange experiences through different activities and interactive lectures on global issues with experts and students. Participants will have the chance to visit Sofia University, Japan International Cooperation Agency (JICA), Sensoji Temple, Miyajima and other insightful landmarks during their stay.

Selected young people and Head of LBD North Macedonia, Vladimir Gjorgjević, who will be guiding them in the name of RYCO, are excited to engage in this cultural and intellectual exchange in Japan like no other.

Since its start in 2013, the MIRAI Program has been fostering understanding and collaboration between Japan and the Western Balkans, and now for the 12th time, the program continues to serve as a bridge between diverse cultures and perspectives. The MIRAI started the program to support socio-economic reforms and facilitate reconciliation and cooperation in Albania, Bosnia and Herzegovina, Kosovo*, North Macedonia, Montenegro and Serbia. MIRAI stands for Mutual understanding, Intellectual Relations and Academic exchange Initiative.

*This designation is without prejudice to positions on status and is in line with UNSCR 1244 and the ICJ Opinion on the Kosovo Declaration of Independence.

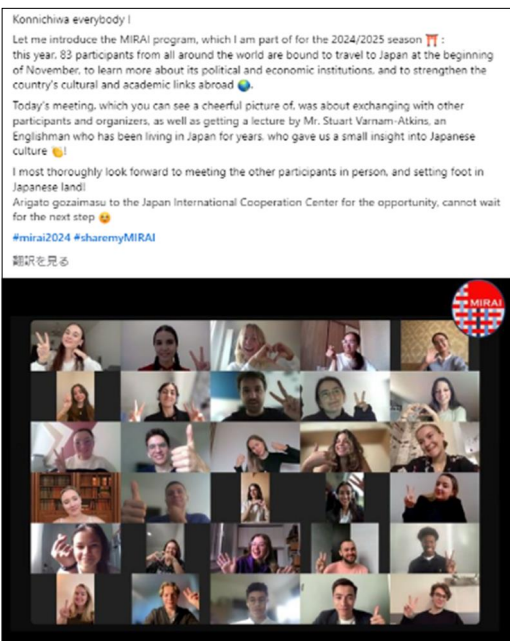
2024 年 12 月 19 日

(RYCO: Regional Youth Cooperation Office の HP) 「日本への訪問ー西バルカン諸国の 13 人の若者にとっての新たな視点と生涯にわたるつながり」

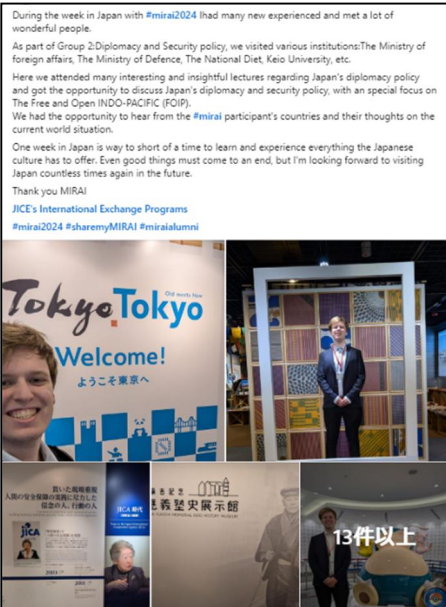
2024 年 12 月 23 日 (上智大学の HP)

2024 年度 対日理解促進交流プログラム「MIRAI」～平和構築～の交流イベントを開催しました

第2グループ（外交・安全保障）欧州諸国 プレプログラム（オンライン事前学習）

 Konnichiwa everybody! Let me introduce the MIRAI program, which I am part of for the 2024/2025 season 🇫🇷 : this year, 83 participants from all around the world are bound to travel to Japan at the beginning of November, to learn more about its political and economic institutions, and to strengthen the country's cultural and academic links abroad 🌐. Today's meeting, which you can see a cheerful picture of, was about exchanging with other participants and organizers, as well as getting a lecture by Mr. Stuart Varnam-Atkins, an Englishman who has been living in Japan for years, who gave us a small insight into Japanese culture 🇯🇵. I most thoroughly look forward to meeting the other participants in person, and setting foot in Japanese land! Arigato gozaimasu to the Japan International Cooperation Center for the opportunity, cannot wait for the next step 🙌 #mirai2024 #sharemyMIRAI 翻訳を見る	2024年9月14日 (Facebook) フランス 大学生 みなさん、こんにちは！MIRAI プログラムについて紹介します。私は 2024/2025 プログラムに参加しています。 今年は世界中から 83 名の参加者が、日本を訪ねて政治や経済関連機関について学び、文化的かつ学術的な側面から互いの国のつながりを深めます。楽しそうな画像が見えていると思いますが、今日のプログラムでは参加者と実施機関の交流をするとともに、アットキン氏という日本在住歴がとて長い英国人男性による日本の文化についての講義がありました。他のメンバーに実際に会うことや、日本の地を訪ねるのがとても楽しみです。次の機会が待ち遠しいです。
--	--

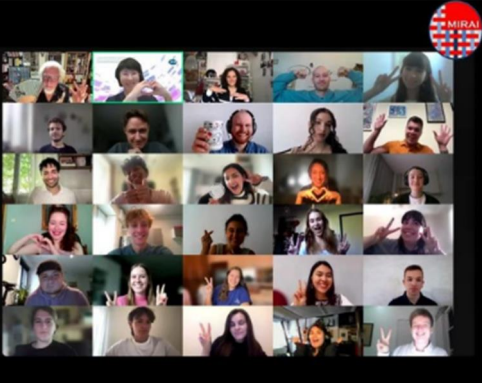
招へいプログラム

 Since arriving on November 6th, I've had an incredible start to this journey. On the very first day, I had the honor of visiting the Ministry of Foreign Affairs, gaining insight into Japan's approach to diplomacy. The following day, we continued with a visit to the Ministry of Defense, where we learned about Japan's defense policies and regional security perspectives. A special highlight was our time at JICA, where we joined in an engaging session with Research Fellow Muto Aki. Together with her and my fellow participants, we delved into discussions on human security, exploring what it means for each of us and in the broader global context. Looking forward to many more enriching experiences here in Tokyo! #MIRAI #MIRAIAlumni #MIRAI2024 #Japan #InternationalRelations #CulturalExchange	 During the week in Japan with #mirai2024 I had many new experiences and met a lot of wonderful people. As part of Group 2: Diplomacy and Security policy, we visited various institutions: The Ministry of Foreign Affairs, The Ministry of Defense, The National Diet, Keio University, etc. Here we attended many interesting and insightful lectures regarding Japan's diplomacy policy and got the opportunity to discuss Japan's diplomacy and security policy, with an special focus on The Free and Open Indo-Pacific (FOIP). We had the opportunity to hear from the #mirai participant's countries and their thoughts on the current world situation. One week in Japan is way too short of a time to learn and experience everything the Japanese culture has to offer. Even good things must come to an end, but I'm looking forward to visiting Japan countless times again in the future. Thank you MIRAI JICE's International Exchange Programs #mirai2024 #sharemyMIRAI #mirai2024
2024年11月8日 (LinkedIn) イタリア 大学院生 11月6日に日本に到着したのですが、最初からすばらしい経験の連続でした。初日には外務省を訪問する機会を頂き、日本の外交姿勢について見識を深めることができました。翌日には防衛省を訪問し、日本の防衛政策と地域安全保障の展望につ	2024年11月11日 (Facebook) デンマーク 大学生 MIRAI2024 のプログラムを通して日本で過ごした1週間は、私に多くのすばらしい経験と出会いもたりました。 私が属していた「G2：外交・安全保障」のグループは外務省、防衛省、国会議事堂、慶應義塾大学な

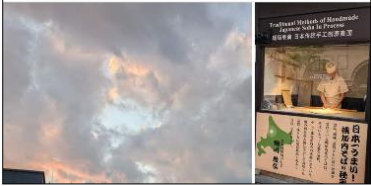
いて学びました。 JICA で過ごした時間が特に印象に残っており、武藤亜子専任研究員や他の参加者とともに、人間の安全保障について議論しました。人間の安全保障が私たち一人ひとりにとって、また世界にとってどのような意味を持つのかを探っていきました。ここ東京で、さらに多くの充実した経験が得られることを楽しみにしています。	ど、さまざまな機関を訪問しました。 プログラム中、数多くの日本の外交政策に関する興味深く洞察に富んだ講義を受け、特に自由で開かれたインド太平洋（FOIP）に焦点を当てた日本の外交・安全保障政策について話し合う機会があったのがよかったです。 参加者からもそれぞれの国の情勢や、世界情勢についての意見を聞く機会もありました。 一週間という時間は日本文化の全てを学び、体験するには時間が足りず、もうすぐプログラムが終了するのは大変残念ですが、今後も日本を訪れたいと思っています。
2024 年 11 月 10 日 (LinkedIn) イタリア 大学院生 こんにちは。MIRAI プログラムの日本での冒険も残り半分。私が強い意欲を持って取り組んでいた外交と地政学に、久しぶりに触れることができました。このプログラムで多くの出会いがありました。私と同じようにヨーロッパから招へいされた、異なる背景を持った参加者から、数日前に細谷雄一先生の日本の外交と外交政策の展望について議論する講義で出会った慶應義塾大学の学生まで、出会ったすべての人に対し感謝の念しかございません。	2024 年 11 月 11 日 (LinkedIn) ポルトガル 大学院生 圧倒されるような経験をしています。未だに自分が東京にいることさえ信じられないのに、もう終わりが近づいています。この一週間は楽しく、多くの知識を得、いくつもの文化的な体験もしました。 外交、人間の安全保障、保護する責任、FOIP などの概念は、最も議論されていることであり、国際関係学を専攻する博士課程の学生である私にとって、それらの概念に立ち返って実際のフィールドワークをすることや、日本の視点に立った第一次情報を得ることは、本当に重要なものになりました。

 Yuichi Hosoya 細谷雄一 @Yuichi_Hosoya 昨日、慶應義塾大学にて、外務省MIRAIプログラムを通じて日本を訪問した欧州からの学生たちを迎えて、鶴岡路人准教授と私の授業を受けて頂きました。その後、慶應の学生と交流して、大学キャンパスを散策し、日本への理解を深めて頂きました！ mofa.go.jp/erp/ep/page24e...	た。 2024年11月19日(慶應義塾大学 法学部 教授 細谷 雄一 氏のX) 昨日、慶應義塾大学にて、外務省 MIRAI プログラムを通じて日本を訪問した欧州からの学生たちを迎えて、鶴岡路人准教授と私の授業を受けて頂きました。その後、慶應の学生と交流して、大学キャンパスを散策し、日本への理解を深めて頂きました！
---	--

第3グループ(経済・ビジネス) 欧州諸国 プレプログラム(オンライン事前学習)

Today was the joint orientation for the #MIRAI program 2024/2025! 🌍 Mr. Stuart Varnam-Atkin, a British living in Japan for decades, gave us a very interesting lecture about Japan and its culture! We learned about chopstick etiquette, traditional forms of Japanese theater and much more! 🍴 The most exciting part was meeting and connecting with the other participants of my G3 group. Business and Economy! Today's orientation was a very exciting experience and I am looking forward to gaining even more through the program! I am very thankful to @jice_exchange for the opportunity and their guidance! #MIRAIalumni #sharemyMIRAI #MIRAI2024 #Japan 	2024年9月14日(Facebook) ギリシャ 大学生 今日は2024/2025 MIRAI プログラムの合同オリエンテーションでした。何十年も日本に住んでいる英国人、アットキン氏による日本や日本文化についての講義がありました。箸のエチケットや日本の舞台芸能についてなど、多くを教わりました。そして何より興奮したのは、私と同じグループ3「経済・ビジネス」のメンバーに会い、つながることができたことです。今日のオリエンテーションは本当にワクワクする経験でした。プログラムを通して、さらに学べるのが楽しみです。この機会を設けて下さったこと、そしてガイダンス内容にもとても感謝しています。
---	---

招へいプログラム

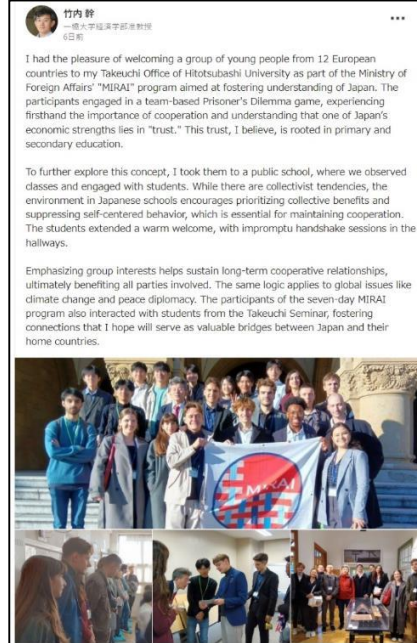
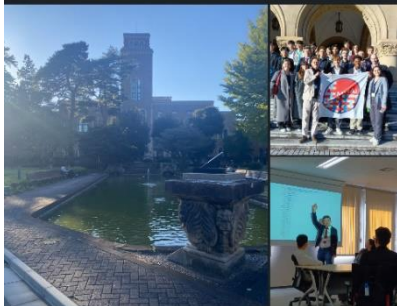
Day 1 Today we had the opportunity to visit Hitotsubashi University and Kunitachi 1st Junior High School. At Hitotsubashi University, we took part in an intriguing lecture by Associate Professor Kan Takeuchi followed by group networking and lunch with the Japanese students. It was interesting to find out how deeply the sense of community, cooperation and consideration is rooted in the Japanese society. I expected the Japanese to be mindful and polite, however learning about the reasons for these characteristics gave me a complete insight and understanding. After lunch, we got to know the campus and students at a nearby Junior High School. Here we visited different classes and interacted with students and teachers. I enjoyed being able to witness Japanese educational system with my own eyes. Its sense of inclusion and uniformity vastly differs to what I'm used to from my home country. I was surprised to find out how neat and organised were the classes and the whole school system. Thrilled to see how this experience will continue! :) #MIRAI2024 #sharemyMIRAI 	Just touched down in Tokyo for the #MIRAI program, and I'm blown away! This city is beyond anything I imagined. Photos and videos don't do it justice—Tokyo has a scale and energy you can only feel when you're actually here. Every neighborhood has its own unique vibe. Ginza, for instance, is all polished glass buildings and wide, tree-lined streets, perfectly organized. But as you explore, the city shifts. You find lower buildings, cozy family homes, small shops, and konbinis on every corner, with a web of cables stretching across the streets. Today, I had my first taste of traditional Japanese cuisine at a couple of amazing spots. We had lunch at a restaurant where you leave your shoes at the door, sit on cushions, and enjoy delicious food in beautifully decorated rooms. Such an unforgettable experience! Time to get some rest—tomorrow, the program officially begins. Can't wait to see what Tokyo has in store! #sharemyMIRAI 
2024 年 11 月 7 日 (Facebook 等) スロバキア 大学生 1 日目 今日は一橋大学と国立第一中学校を訪問しました。 一橋大学では、竹内幹准教授による興味深い講義に参加し、その後、日本の学生たちと一緒にグループ・ネットワーキングと昼食をとりました。共同体意識、協調性、思いやりがいかに深く日本社会に根付いているかを知ることができたのは面白かったです。日本人は思いやりがあり、礼儀正しいと思っていましたが、なぜこのような特徴があるのかを学ぶことで、完全に把握し、理解することができました。 昼食後は、近くの中学校でキャンパスや生徒たちの様子を知りました。ここではいくつかの授業を見学し、生徒や先生と交流しました。日本の教育システムをこの目で見ることでできて楽しかったです。その包括的で画一的な感覚は、私が母国で慣れ親しんできたものとは大きく異なっていました。授業や学校のシステム全体がとてもきちんと整理整頓されていることに驚きました。この経験がどのように続いていくのか楽しみです！	2024 年 11 月 6 日 (Instagram) ルーマニア 大学生 MIRAI プログラムのために、東京に降り立ったばかりですが、圧倒されています！この街は想像以上です。写真やビデオでは伝わらない、東京のスケールとエネルギーは、実際に東京に行けば感じることができます。 どの地域にも独自の雰囲気があります。たとえば銀座は、洗練されたガラス張りのビルと広い並木道で、完璧に整理されています。しかし、散策しているうちに、街は移り変わっていきます。低層ビル、こぢんまりとした一戸建て、小さな商店、コンビニがいたるところにあり、通りには電線が網の目のように張り巡らされています。 今日、私はいくつかのすばらしい場所で伝統的な日本料理を初めて味わうことができました。昼食のレストランでは、玄関で靴を脱いで座布団に座り、美しく装飾された部屋でおいしい料理を楽しみました。忘れられない経験です！ 明日から正式にプログラムが始まります。東京で何が待っているのか楽しみです！

Thrilled to share that I was selected as the UK delegate for the MIRAI Japanese Visiting Program (Economics and Business Group) from thousands of applicants across Europe!

As a law student, I was surprised and grateful for the chance to represent the UK in a program typically geared towards finance and economics. Hosted by the Ministry of Foreign Affairs and JICE, this experience provided unique insights into Japan's economic frameworks and business landscape.

On our first day, I visited Hitotsubashi University, renowned for its focus on economics. I joined Dr. Takeuchi Kan and his students for a seminar, where we explored the concept of Game Theory through a spirited round of 'Jan-Ken' (rock-paper-scissors), discussing its relevance in business decision-making today.

Looking forward to sharing more from this incredible experience! #MIRAI2024 #MIRAIProgram #MIRAI



2024 年 11 月 7 日 (LinkedIn)

英国 大学生

ヨーロッパ中の何千という応募者の中から、MIRAI 日本招聘プログラム (経済・ビジネスグループ) の英国代表に選ばれたことを分かち合えて感激しています！

法学部の学生である私は、金融や 経済を対象とした典型的なプログラムに英国を代表 して参加する機会に驚き、また感謝しています。外務省と JICE によって企画されたこの経験は、日本の経済的枠組みやビジネスの状況についてユニークな洞察を与えてくれました。

初日、私は経済学で有名な一橋大学を訪れました。竹内幹先生とその学生たちとゼミに参加し、「じゃんけん」を通じてゲーム理論の概念を学び、今日のビジネスにおける意思決定との関連性について話し合いました。

このすばらしい体験からさらに多くのことを分かち合うことを楽しみにしています！

2024 年 11 月 20 日 (一橋大学 大学院経済学研究科・経済学部 准教授 竹内 幹 氏の LinkedIn)

私は、外務省の日本理解促進プログラム「MIRAI」の一環として、ヨーロッパ 12 か国の若者たちを一橋大学の竹内研究室に迎える機会に恵まれました。参加者は、チームで「囚人のジレンマ」ゲームを行い、協力の大切さを肌で感じ、日本の経済力の一つは「信頼」にあることを理解しました。この信頼は、初等・中等教育に根ざしていると私は考えています。(後略)



2024 年 11 月 27 日（ルーマニアのオンライン新聞社 ZIUA de CLUJ の HP）

「日本とヨーロッパ諸国間の文化的及び専門的交流を促進することを目的とした、MIRAI プログラムでルーマニアを代表して UTCN の学生が参加しました」

2024 年 11 月 27 日（Technical University of Cluj-Napoca の Facebook）

日本の専門家とディスカッションしたことや、大学、東証 Arrows を訪問し、様々な教育・文化活動に参加したことを紹介。



2024 年 12 月 2 日（GREECEJAPAN の HP）

「MIRAI 日本政府青年交流プログラム ユニークな体験！」
参加者の日本での体験談を紹介

2024 年 12 月 9 日（UNIVERSITY OF TARTU Institute of Cultural Research の HP）

「日出ずる国での一週間」
参加者の日本での体験談を紹介

第4グループ（科学・技術）欧州諸国

プレプログラム（オンライン事前学習）

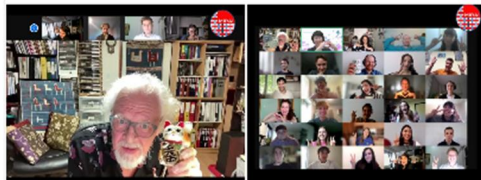
I'm excited to share that I've been selected to participate in the MIRAI program for young future leaders, specifically in the Science and Technology group!

This prestigious program brings together students and young professionals from Europe for an unforgettable week in Japan, where we will engage in discussions, visit local government institutions, explore educational centers and companies, and immerse ourselves in Japanese culture. The purpose of this program is to strengthen mutual understanding and cooperation, promote intellectual debate, and build strong ties between Japan and Europe.

During today's pre-program, an amazing lecture on Japanese culture was given by a British, residing in Japan since the 1970s, Mr. Stuart Varnam-Atkin – „A Personal Collection of Japanese Cultural Trivia“. Through his insightful presentation, I learned so much about Japan's rich cultural heritage, including its deep-rooted traditions, values, and the nuances of everyday life that shape the country's identity. Mr. Varnam-Atkin's vast knowledge and engaging delivery made the session both educational and inspiring. Also, had an amazing discussion with the Science and technology group participants. It was a fantastic introduction that has only heightened my excitement for the MIRAI program!

I would like to express my sincere gratitude to the JICE, Embassy of Japan in Lithuania and the Life Sciences Center for this opportunity and I cannot wait to learn more and share this experience with everyone!

#MIRAI2024
#sharemyMIRAI

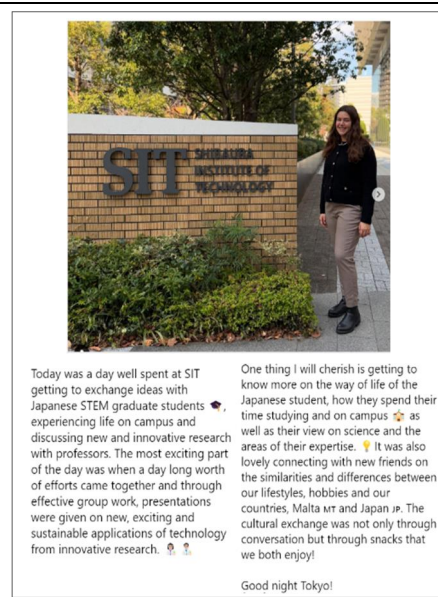


2024年9月14日（LinkedIn）リトアニア

この度、私は未来の若手リーダーを対象とした MIRAI プログラムの科学・技術をテーマとしたグループに参加することになりました！この名誉あるプログラムでは、ヨーロッパから学生や若手社会人が集まり、日本で忘れられない1週間を過ごします。日本では議論をしたり、政府機関の訪問、教育機関や企業の見学をしたり、文化体験を行ったりします。このプログラムの目的は、相互理解と協力関係の強化、知的な議論の促進、そして、日欧間の強固な絆の構築です。本日のプレプログラムでは、1970年代から日本に在住するイギリス人、スチュアート・ヴァーナム-アトキン氏による「日本文化トリビア集」と題した講義が行われました。彼の洞察に満ちたプレゼンテーションを通して、日本という国のアイデンティティを形成する深く根付いた伝統や価値観、日常生活での意味合いなど、日本の豊かな文化遺産について、私は多くのことを学びました。ヴァーナム-アトキン氏の豊富な知識と魅力的な語り口は、このセッションを教育的かつ刺激的なものにしてくれました。また、同じ科学・技術グループの参加者とのディスカッションも素晴らしいものでした。MIRAI プログラムに対する私の興奮をさらに高めてくれた素晴らしいオリエンテーションでした。

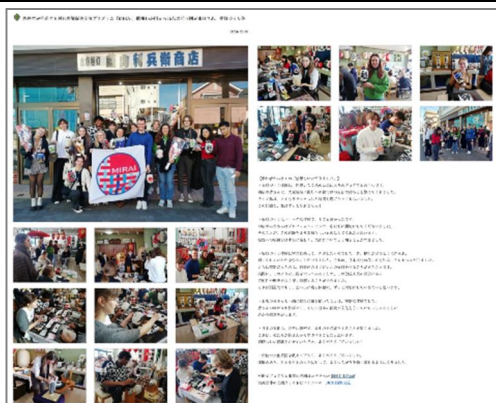
招へいプログラム

MIRAI Program - Day 1-2! I still can't believe I'm staying in the most city in the world—Tokyo, Japan! Day 1 kicked off with orientation, where we were introduced to our full schedule. We also had the chance to experience Japanese food—a unique cultural experience! While it wasn't entirely to my taste, I appreciated the opportunity to explore the flavors and traditions of Japan (I'm getting used to it by now!). On Day 2, we had the privilege of visiting the Shibaura Institute of Technology (SIT) and exploring the labs of Japanese scientists. It was fascinating to discuss cutting-edge technologies and innovations directly with experts. Using these insights, we collaborated to generate our own unique ideas and innovations, combining creativity and problem-solving inspired by their forward-thinking approach. It was also an incredible opportunity to discuss with SIT students the relationship between the development of science and technology and its social benefits (Special thanks to Keigo and Ivanna for the great company!). One thing became clear: while we search for solutions to tomorrow's challenges, Japan is already building the future! This journey has been eye-opening, and I can't wait to see what's next! 🇯🇵 Thank you to the 一般財団法人日本国際協力センター for this amazing opportunity. I'm so excited for what tomorrow has in store! 	 Visiting the Panasonic Center was an incredible experience! Not only did we get to explore the history of Panasonic— one of Japan's most iconic electronics manufacturers— but we also got a glimpse into their vision for the future 🌐🌟 The showcase of cutting-edge technology and innovative ideas left me in awe. Panasonic's commitment to creating solutions that are future-oriented, sustainable, and equitable really stood out to me. It's inspiring to see how they integrate environmental responsibility and social justice into their innovations 🌱💚 One of my favorite parts of the visit was experiencing "the new real"— an exciting preview of technologies designed to build a safer, more comfortable, and happier future for people around the world. The meditation room and the aura reader were additional cool highlights 🧘🌈
2024 年 12 月 9 日 (LinkedIn) リトアニア MIRAI プログラム 1ー2 日目 1 日目はオリエンテーションから始まり、全体の日程を紹介されました。また、日本食を体験する機会もあり、ユニークな文化体験になりました。私の口にはあまり合いませんでしたが、日本の味と伝統を探究する機会に感謝しました（だんだん慣れてきました）。 2 日目は、芝浦工業大学（SIT）を訪れ、日本人科学者の研究室を見学する機会に恵まれました。最先端の技術やイノベーションについて専門家と直接話し合うのは、とても興味深いものでした。このような洞察に基づき、私たちは彼らの先進的なアプローチに触発されながら、創造性と問題解決力も合わせて、独自のアイデアやイノベーションを生み出そうと協力しました。また、SIT の学生たちと、科学技術の発展とその社会的利益との関係について議論するすばらしい機会でもありました（すばらしい仲間に出会えたことに感謝）。 ひとつ明らかになったことがあります。私たちが明日の課題に対する解決策を模索している間に、日本はすでに未来を築いているのです。この旅は目を見張るようなものでした。明日は何が待っているのか、とても楽しみです！	2024 年 12 月 6 日 (Instagram) ドイツ パナソニックセンターの訪問は、信じられないような体験でした。日本を代表する電機メーカーであるパナソニックの歴史に触れることができただけでなく、未来へのビジョンも垣間見ることができました。最先端技術と革新的なアイデアのショーケースには畏敬の念を覚えました。パナソニックの、未来志向で持続可能かつ公平なソリューションの創造へのコミットメントは、本当に際立っていました。パナソニックがどのように環境責任と社会正義を統合しイノベーションに組み込んでいるのかを見ることができたのは感動的です。 今回の訪問で私が最も気に入ったことのひとつは、「新しいリアル」を体験したことです。世界中の人々にとって、より安全で快適で幸せな未来を築くためにデザインされたテクノロジーの展示にワクワクしました。瞑想ルームとオーラメディテーション（注）もまたすばらしい体験でした。 （注）オーラメディテーション：被験者の内面の状態を“オーラ”のように可視化する装置



2024 年 12 月 7 日 (Facebook) アイスランド
私は日本にいます。科学技術をテーマにした MIRAI2024 のプログラムに参加し、ヨーロッパ中から集まった 14 人の素晴らしい仲間たちと一緒に活動できることを、とても光栄に思っています。この数日間、日本の豊かな文化、最先端のイノベーション、画期的な研究に触れる機会を得ました。先進的な研究所や持続可能な技術の見学から、人生を変えるような補助器具の体験、さらには日本の宇宙開発への入り口の訪問まで、どの瞬間も本当に刺激的でした。食事、人々、もてなし、素晴らしい一言に尽きます！この素晴らしい旅で得た知識と思い出は一生の宝物です。

2024 年 12 月 5 日 (Instagram) マルタ
今日は SIT (芝浦工業大学) において大学院生と意見交換をし、キャンパス・ライフを体験し、そして先生方と新しく革新的な研究について議論をしました。最も盛り上がったのは、一日がかりのグループワークを通して、革新的な研究をもとに考えた、新しく刺激的で持続可能な技術の応用についての発表でした。私が大切にしていることの一つに日本の学生の生活を知ることがあり、キャンパスでの過ごし方や勉強方法だけではなく、科学や研究分野に対する考え方についても詳しく知ることができました。また、私たちのライフスタイルや趣味、そしてマルタと日本という国の共通点や相違点について、新しい友人達と交流ができたことも素晴らしい体験でした。私たちの文化交流は、会話を通してだけではなく(双方の国の)お菓子を通しても行われ、どちらも楽しかったです。



2024 年 12 月 18 日
(蔭山利兵衛商店ホームページ)
「外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」欧州 15 か国から 15 名の訪日団が来日され、提灯づくり体験を実施しました！」

第5グループ（環境・グリーン）欧州諸国

プレプログラム（オンライン事前学習）

I am incredibly excited for the opportunity to be part of the MIRAI - 2024 cultural exchange scheme, a program that offers an opportunity for European and Japan to build academic ties with the hopes of promoting the economy, society, history, culture, politics, and foreign policy of Japan. Introducing us to the program today was Mr. Stuart Varnam-Atkin, providing us with an exciting lecture on his personal collection of Japanese culture, including the factors that influenced his immigration from the UK to Japan. Divulging into his experiences in Japan, Mr. Varnam-Atkin displayed various cultural artefacts alongside their history, including lucky cats, calligraphy brushes, yen notes, and his experiences with presenting and watching sumo wrestling. This introduction has been invaluable, furthering both my cultural knowledge and my excitement of visiting Japan as a participant of the MIRAI program. #MIRAI2024 #sharemyMIRAI	2024年9月14日（LinkedIn）英国 大学院生 「MIRAI 2024」文化交流プログラムに参加する機会をいただき、とてもワクワクしています。このプログラムは、日本の経済、社会、歴史、文化、政治、外交政策の促進とともに、ヨーロッパと日本の学術的な結びつきを築く機会を提供するものです。今日のプログラムでは、スチュアート・ヴァーナム-アットキン氏が登壇し、英国から日本への移住に影響を与えた要因や、自身で集めた日本文化的なコレクションについて、とても興味深い講義をしてくださいました。ヴァーナム-アットキン氏は、日本での体験談を交えながら、招き猫、書道筆、円札、相撲の興行や観戦体験など、さまざまな文化的工芸品を、その歴史とともに見せて下さいました。この講義は非常に貴重であり、文化に対する理解を深め、また MIRAI プログラムの参加者として日本を訪れることへの期待をさらに高めてくれました。
---	--

招へいプログラム

Day 2: A thrilling second day to the Mirai program with two different site visits - one to the New Energy and Industrial Technology Development Organisation (NEDO) - and another to the Kawasaki Life Science and Environment Institute (LiSE). Within our lecture with NEDO, we were introduced to the innovation and development of hydrogen technology within Japan to cope with the limited spatial extents of land use available for renewable energy sources. We discovered the many avenues of hydrogen cell research, including its planned usage in vehicles and energy mixes as well as the efforts to safely export and import pressurised hydrogen within an international export network throughout Europe, Asia, and Oceania. The representatives of NEDO illustrated the companies part in the Japanese hydrogen system, describing to us their key missions of applied research, field tests, and continued regulation of hydrogen systems across the nation. Within their presentation they outlined how they would aid in the achieving of carbon neutrality within Japan by 2050 through the steps of marketisation of hydrogen fuel cells, hydrogen vehicles, and hydrogen within the energy system, starting with their first steps in 2009 and their roadmap up to 2050. A very big thank you to the Mirai staff and NEDO representatives for allowing us this incredible opportunity and taking all our questions throughout the lecture. #Mirai2024 #HydrogenFuel 	2024年11月10日（LinkedIn）英国 大学院生 MIRAI プログラムの2日目は非常に刺激的で、2つの施設を訪問しました。1つは新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、もう1つは川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）です。 NEDOでの講義では、日本における水素技術の革新と開発について紹介を受けました。日本では再生可能エネルギーのための利用可能な土地が限られているため、その対策として水素技術が注目されています。水素燃料電池の研究には多くの分野があり、車両やエネルギーミックスへの利用が計画されていること、また国際輸出ネットワークを通じてヨーロッパ、アジア、オセアニア間で加圧水素の安全な輸出入が目指されていることを学びました。 NEDOの担当者は、日本の水素システムにおける企業の役割について説明し、応用研究や実証実験、
--	---

	国内での水素システムの規制を継続的に行うという NEDO の主要な使命を紹介しました。プレゼンテーションでは、水素燃料電池や水素車、エネルギーシステム内での水素の市場化を通じ、2050 年までに日本のカーボンニュートラルを達成するための取り組みがどのように進められているかを概説しました。この取り組みは 2009 年に始まり、2050 年までのロードマップが示されています。 このすばらしい機会を提供してくださった NEDO の担当者の皆様、講義中に私たちの質問にすべて丁寧に答えてくださったことに心から感謝を申し上げます。
 Besøk på Life Science and Environment Research Centre (LiSE) i Kawasaki City: Under besøket lærte vi om historien deres relatert til å bekjempe forurensning lokalt. Fra 1945 til 1970, så en i kjølvannet av en tilvekst av flere fabrikker i Kawasaki, en økning av tilfeller av bronkitt og astma, som bidro til en protest-kampanje. Etter 70-tallet kom det flere nye lovgivninger og reguleringer, som har bidratt til redusert forurensning. LiSE jobber videre med kontroll og overvåking, samt å adressere ulike klima og miljø utfordringer.	2024 年 11 月 12 日 (Instagram) ノルウェー 大学院生 川崎市の生命科学環境研究センター (LiSE) 訪問中、私たちは地元の公害との闘いの歴史について学びました。1945 年から 1970 年にかけて、川崎市内のいくつかの工場の発展に伴い、気管支炎やぜんそくの症例が増加し、これが抗議活動の一因となりました。70 年代以降、新しい法律や規制が導入され、汚染の減少に貢献してきました。LiSE は様々な気候や環境に対処するだけでなく、規制と監視の取り組みも続けています。

I've been saving my first LinkedIn post for something special, and this feels like the perfect moment. 🌟

Out of more than 2,000 applicants, I had the honor of being selected to represent the Czech Republic as part of the MIRAI 2024 Program, joining the Environment and Green group. Spending a week in Tokyo was an enriching experience filled with learning, inspiration, and deep cultural immersion. I'll cherish the memories for years to come. JP

Here are some highlights from the trip:

🌱 Engaging at WASEDA University

We connected with Japanese students, exchanging perspectives on recycling and the societal approaches to environmental challenges. It was fascinating to see how these conversations bridged cultural differences.

🏭 NEDO and LiSE in Kawasaki City

An unforgettable visit where we witnessed how Kawasaki transformed from a polluted industrial hub to a model of environmental resilience. At NEDO, we explored Japan's ambitions to establish a hydrogen society. I'm especially curious to see how they will foster widespread public acceptance of hydrogen as a sustainable energy source, particularly through their communication strategies.

🏛️ Presenting at the Ministry of Foreign Affairs

Standing in the Ministry's halls and sharing our reflections was surreal. Meeting the Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs, Mr. Fukazawa, and discussing environmental solutions was both humbling and empowering.

🍵 Immersing in Japanese Culture

From savoring authentic Japanese cuisine to visiting the Oshino & Fujisan World Heritage Centre, attending a tea ceremony, and exploring the Tokyo National Museum's stunning exhibits on Samurai history and traditional art, every moment was a celebration of Japan's rich cultural heritage.

This week taught me the immense value of stepping outside my comfort zone, seizing opportunities, and learning from others' perspectives. It reinforced the power of international collaboration, especially when addressing shared global challenges like climate change and sustainability.

A heartfelt thank you to the MIRAI Program team, 一般財団法人日本国際協力センター, the Embassy of Japan in the Czech Republic, my lovely team, and every participant who made this journey so memorable. 💙

#MIRAI2024 #ShareMyMIRAI

Photo provided by the Ministry of Foreign Affairs.

翻訳を表示



2024年11月20日 (LinkedIn)

チェコ共和国 大学院生

初めての LinkedIn 投稿を特別な機会のために取っておきましたが、今がその完璧なタイミングだと感じています。

2,000人以上の応募者の中から選ばれ、MIRAI 2024 プログラムの一環としてチェコ共和国を代表し「環境・グリーン」のグループに参加するという名誉をいただきました。東京での1週間は、学びや刺激、そして深い文化体験に満ちた充実した時間でした。この経験は、これからも大切な思い出として心に刻まれることでしょう。

旅のハイライトをご紹介します：

●早稲田大学での交流

日本の学生たちと交流し、リサイクルや環境問題への社会的アプローチについて意見を交わしました。こうした対話が文化の違いを越える様子はとても興味深いものでした。

●川崎市の NEDO と LiSE 訪問

忘れられない訪問でした。川崎が汚染された工業地帯から環境回復のモデルへと変貌を遂げた過程を目の当たりにしました。NEDO では、日本が目指す水素社会の実現について学びました。特に、持続可能なエネルギー源として水素を一般市民に広く受け入れてもらうためのコミュニケーション戦略がどのように展開されるのか、大いに興味を持ちました。

●外務省での報告会

外務省のホールで私たちの考えを発表する経験は非現実的なほど感動的でした。深沢外務大臣政務官とお会いし、環境問題の解決策について議論できたことは、謙虚さと同時に大きな力を感じる瞬間でした。

●日本文化の体験

本格的な日本料理を味わい、大涌谷と富士山世界遺産センターを訪れ、茶道を体験し、東京国立博

	物館のサムライの歴史や伝統工芸に関するすばらしい展示を見学しました。一つ一つの瞬間が、日本の豊かな文化遺産を祝福する時間でした。 この1週間を通じて、慣れ親しんだ環境や安心できる範囲から一步踏み出すという行動の価値、チャンスをつかむこと、他者の視点から学ぶことの重要性を実感しました。また、気候変動や持続可能性といった世界共通の課題に取り組む際に、国際協力の力の大きさを改めて感じました。 皆さんに、心から感謝申し上げます。
--	---

外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」で欧州学生との交流を行いました 日本政府（外務省）が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」は、将来の国際リーダーとなる若手人材を「マツリ」に集め、両国の日本入学生と知識交流を行う機会を提供するプログラムです。両国間の対日理解を促進し、新世代・新世代を育成するとともに、将来にわたる日欧間の深い相互理解と友好関係の発展も目的としています。 「MIRAI」は、このプログラムの「リーダー・グループ」を招き、大学・大学院（19歳以上）の学生が参加し、日本を訪問し、両国間の交流を促進します。 両国間の対日理解を促進し、新世代・新世代を育成するとともに、将来にわたる日欧間の深い相互理解と友好関係の発展も目的としています。 	21. November 2024 TU Wien student Alex participated in the MIRAI-program The fully funded MIRAI Program, sponsored by Japan's Ministry of Foreign Affairs (MOFA), is a short-term stay in Japan. It primarily targets undergraduate and master's students but is also open to young professionals and PhD students. 
---	--

2024 年 11 月 11 日（早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科の HP） 「外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」で欧州学生との交流を行いました」	2024 年 11 月 21 日 （Vienna University of Technology（オーストリア・ウィーン工科大学）のウェブサイト） 「ウィーン工科大学の学生が MIRAI プログラムに参加」
--	---

The student who turns every opportunity into action  When we have the chance to meet with Japanese students, we should take the opportunity to learn from them. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. 	The student who turns every opportunity into action  When we have the chance to meet with Japanese students, we should take the opportunity to learn from them. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. The student who turns every opportunity into action is the one who makes the most of the chance to meet with Japanese students. 
--	---

2024 年 11 月 26 日（UNIVERSITE DU LUXEMBOURG 法学部 経済・ファイナンス学部 HP）
--

「あらゆる機会を行動に移す学生」参加者のインタビューにて MIRAI の経験を紹介。

第6 グループ（法の支配）中央アジア・コーカサス地域

プレプログラム（オンライン事前学習）

JP I was fortunate enough to be selected as a participant of Japan's MIRAI Programme organized by 一般財団法人日本国際協力センター and the Ministry of Foreign Affairs of Japan as a member of the Rule of Law. Although those with some understanding of Japanese might translate 'MIRAI' as 'future', here it stands for the Mutual-understanding Intellectual Relations Academic-exchange Initiative. The MIRAI Programme endeavours to promote friendship between Central Asia and Japan, aiming to increase the understanding of future generations in all things Japan.

The first online orientation program of "MIRAI" was held on September 14th. More than 83 participants from Europe, the Caucasus, and Central Asia joined the program. In this orientation we had an informative and exciting lecture with Mr. Stuart Varnam-Atkin who introduced us to Japanese culture. Afterwards we had the chance to network among other participants who will visit Japan in 2024/2025.

I am excited to share and learn more during our visit to Japan with #MIRAI #JapanExchange #GlobalUnderstanding #sharemyMIRAI



2024 年 9 月 14 日 (LinkedIn) ウズベキスタン

私は幸運にも、外務省と日本国際協力センターが実施する日本の MIRAI プログラムの法の支配をテーマとしたグループの参加者として選ばれました。

MIRAI を日本語の「未来」と訳す人もいますが、ここでは「Mutual-understanding Intellectual Relations Academic-exchange Initiative」の略語となっています。MIRAI プログラムは、中央アジアと日本の友好を促進し、未来に向かう世代が日本に対する理解を深めることを目的としています。9 月 14 日には、MIRAI で初めてのオンライン・オリエンテーション・プログラムが開催されました。ヨーロッパ、コーカサス、中央アジアから 83 名が参加しました。このオリエンテーションでは、スチュアート・ヴァーナム-アトキン氏による情報豊かで面白い講義があり、私たちは日本文化について学ぶことができました。その後は、2024、2025 年に日本を訪問する他の参加者たちと交流をしました。

招へいプログラム



2025 年 1 月 17 日 (Instagram)

アゼルバイジャン 大学院生

MIRAI プログラムで東京を探索中。

MIRAI プログラムの参加者として、私が経験している素晴らしい経験を共有させてください！

アゼルバイジャンを代表して、私は日本の豊かな歴史、文化、法制度を探索する機会を得ました。政府機関を訪問し、文化交流を行い、法の支配に対する日本の姿勢について学んでいます。

I'm thrilled to share my experience from the MIRAI Japan Program. As you may remember, I had the honor of being selected to participate in the prestigious MIRAI program organized by the Japan International Cooperation Centre and the [Ministry of Foreign Affairs of Japan \(MOFA\)](#). Within the framework of this program for Central Asia and the Caucasus region, the topic chosen was the Rule of Law. During the program, we had the opportunity to visit various government institutions, such as the Ministry of Justice, the Ministry of Foreign Affairs, and the Supreme Court of Japan. This experience will undoubtedly be memorable, as there is much we can learn from Japan — a country that has built its future despite historical events. For Central Asia and the Caucasus, where many countries have potential for development in legal regulation, this is highly relevant. It means that these countries can learn how to adapt Japan's legal experience to their own systems through comparative legal analysis. I would like to thank the Japan International Cooperation Center (JICE) and the Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) for providing this opportunity. Being part of something bigger and being useful to society will always be our primary goal. I'm excited to continue learning and sharing insights from this program. Stay tuned for more updates from my journey in Japan! P.S. With respect to confidentiality, some photos cannot be shared. #sharemymirai #mirai2024



2025 年 1 月 18 日 (Facebook)

カザフスタン 大学生

日本で参加した MIRAI プログラムでの経験を共有させてください。

覚えているかもしれませんが、私は、日本国際協力センター（JICE）と外務省が主催する名誉ある MIRAI プログラムの参加者の一人として選ばれました。

中央アジア・コーカサス地域を対象としたこのプログラムの枠組みの中で、選ばれたテーマは「法の支配」でした。プログラム期間中、私たちは法務省、外務省、最高裁判所など、さまざまな政府機関を訪問する機会を得ました。歴史的に多くの苦難を乗り越え、未来を築いてきた日本から学ぶことは非常に多いです。

中央アジアやコーカサスには、法的規制の分野で発展する可能性のある国が多くあります。

つまり、これらの国々は、比較法的分析を通じて、日本の法的知見を自国の制度に適応させる方法を学ぶことができます。

	より大きなものの一部份になって、社会の役に立つことは、常に私たちの最大の目標です。 このプログラムから学び、見識を共有し続けることにワクワクしています。日本での旅の続報にご期待ください。
"Just wrapped up an incredible experience with the MIRAI Visiting Japan Program [Rule of Law]! 🌍 From exploring Japan's rich culture to engaging in insightful discussions about governance and justice, this journey has been truly transformative. Visiting key institutions and connecting with inspiring individuals from around the world has deepened my understanding of the rule of law and its global significance. Grateful for the memories, knowledge, and friendships made along the way. Arigatou, Japan! 🇯🇵 #MIRAI #RuleOfLaw #GlobalConnections" 	I'm honored to share my experience with the MIRAI Japan Program, a unique opportunity that brought together participants from Central Asia and the Caucasus to explore the Rule of Law in one of the world's most inspiring countries—Japan. Organized by the Japan International Cooperation Center (JICE) and the Ministry of Foreign Aff... Елчи 
2025 年 1 月 19 日 (Facebook) ジョージア 社会人 MIRAI 招へいプログラム (法の支配) プログラムですばらしい体験が終わりを告げようとしています。日本の豊かな文化を満喫したり、統治と正義について洞察に満ちた議論を交わしたりと、この旅は本当に変化に富んだものでした。主要な機関を訪問し、世界中から集まった刺激的な人々と交流することで、法の支配とその世界的意義についての理解が深まりました。道中で得た思い出、知識、友情に感謝しかありません。ありがとう、日本！	2025 年 1 月 20 日 (Facebook) タジキスタン 社会人 日本の MIRAI プログラムは、中央アジアとコーカサスから参加者を集め、世界で最も刺激的な国のひとつである日本で「法の支配」を探求するまたとない機会となりました。その経験について共有させてください。



2025 年 1 月 30 日（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業ホームページ）

「外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」における事務所訪問、国際投資法・競争法に関する講義」

外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「MIRAI」の一環として、2025 年 1 月 20 日（月）に中央アジア・コーカサス地域の 8 か国の大学生大学院生及び社会人が西村あさひ法律事務所・外国法共同事業を訪問し、弊所弁護士による国際投資法・競争法に関する講義が行われました。

本講義においては、「競争法の視点から見る国際関係について」「外国投資の保護及び投資紛争の解決」と題する講義を行うとともに、参加者との間で質疑応答が活発に行われました。

本講義が、我が国のリーガル・プラクティス及び国際投資法・競争法の理解等を通じた法の支配の促進についての参加者の理解の一助となれば幸いです。



2024 年 1 月 27 日（トルクメニスタン教育省のホームページ）

「トルクメニスタンの国立大学の学生が日本への短期コースに参加」

1 月 13 日から 21 日にかけて、トルクメニスタンの国立大学の学生が、日本の「対日相互理解・知的交流・学術交流イニシアティブ (MIRAI)」の「法の支配」分野における短期研修プログラムに参加しました。

本研修の目的は、参加者が日本の法制度や教育システム、文化、芸術、歴史的な場所、伝統について学ぶことにあり、高度な専門知識を持つ専門家による講義が実施されました。

また、本プログラムには、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージアといった国々から、法学を専攻する学生や大学院生、法律関係者が参加しました。

プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を通して広く発信されています。
X(旧 Twitter)、 Instagram、 Facebook ハッシュタグ：#MIRAI2024 #SharemyMIRAI